

## 政策2

# 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します

- 取組1 生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進
- 取組2 いきいきと暮らせる健康長寿の推進
- 取組3 安心できる地域医療の充実
- 取組4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進
- 取組5 親しみやすい市民スポーツの推進



# 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します

### 現状と課題

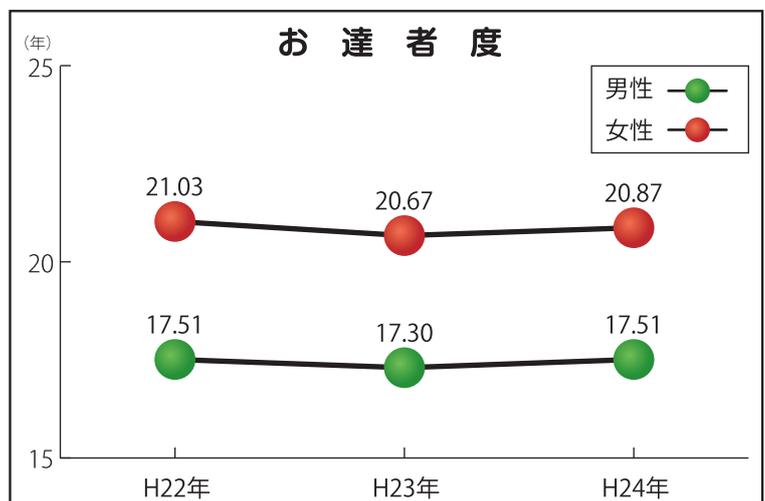
全国的に少子高齢化が進行し、平成26年の65歳以上の高齢者人口は過去最高の3,296万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も25.9%となっています。超高齢社会（※）を迎え、平成37年までに団塊世代が後期高齢者となることもあり、特に後期高齢者の増加による年金や医療費等の社会保障費の増大などが懸念されています。

本市では「日本一健康文化都市」を掲げ、市民が健康で、生きがいをもって暮らせるまちづくりを推進しています。平成26年6月に実施した市民意識調査では、幸せな生活を送るためには、「心身ともに健康であること」との回答が79.8%と最も高い結果となっています。

今後も、心身ともに健康で、幸せな生活を送るためには、日常的な身体活動などの生活習慣や適正な食習慣の定着、幼少期から高齢期までの各年代にあわせた健康づくりやスポーツ活動などの推進とともに、中東遠総合医療センター、聖隷袋井市民病院や総合健康センターを拠点として、保健・予防、医療、介護、福祉の切れ目のないサービスを提供していくことが求められています。

また、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で、生きがいを持って安心して生活ができるように、公的サービスの充実を図るとともに、家庭や地域、団体や企業、行政など多様な主体が相互に連携を図り、社会全体で支え合っていく必要があります。

※超高齢社会…65歳以上の高齢者の占める割合が総人口の21%を超えた社会のこと。



## 取組

### 取組1 生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進

- 1 地域における健康づくりの推進
- 2 各年代における健康づくりの推進
- 3 生活習慣病の発症予防と重症化予防
- 4 栄養・運動など生活習慣の改善
- 5 心の健康づくりの推進

### 取組2 いきいきと暮らせる健康長寿の推進

- 1 健康と生きがいづくりの推進
- 2 地域包括ケアの充実
- 3 住みやすいまちづくりの推進
- 4 支え合う仕組みの構築
- 5 介護保険事業の円滑な実施

### 取組3 安心できる地域医療の充実

- 1 切れ目のない地域医療体制の確保
- 2 救急医療体制の確保
- 3 医療と介護の連携強化

### 取組4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進

- 1 自立した生活の支援
- 2 社会福祉施設の整備支援
- 3 障がい者への理解と地域の交流の支援

### 取組5 親しみやすい市民スポーツの推進

- 1 子どものスポーツ機会の充実と体力向上
- 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 3 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備
- 4 アスリートを育てる競技スポーツの推進

## 指標

指標名	現状値 H26年度	目標値 H32年度
お達者度（男性・女性）	男性 17.51 年（H24） 女性 20.87 年（H24）	男性 17.74 年 女性 21.20 年
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合	9.2 %（H25）	7.5 %（H31）
総合健康センターでの総合相談件数	2,500 件／年 （H27想定値）	3,000 件／年

## 取組1 生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進

### 目的

生涯にわたり健康で幸せに暮らせるように、それぞれの生活や年代にあわせた健康づくりを推進します。

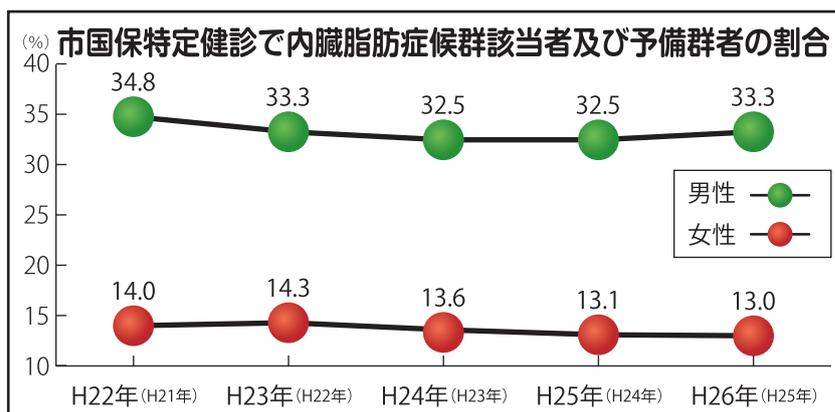
### 現状と課題

本市では、全国に先駆けて実施した健康マイレージ制度をはじめ、野菜いっぱい運動や適正な検診の受診勧奨など様々な事業を積極的に推進してきました。平成25年度に国民健康保険の特定健診受診率が52.3%と県平均35.2%を大きく上回ったことなどは、こうした取組の結果と捉えることができる一方で、本市は県平均と比較して、糖尿病の有病者数が依然として多い状況にあります。



また、本市の最近5年間の死亡原因を見ると、各年とも上位は、がんなどの悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎で、これらが死亡総数の約6割を占め、さらに、介護が必要となった主な原因の約5割を脳血管疾患、認知症、関節疾患が占めるなど、いずれも生活習慣病や身体活動量との関連があります。

今後、高齢者が増加する中、糖尿病をはじめとした生活習慣病や認知症及び運動機能の低下などの予防が大きな課題であり、平成27年5月に開設した総合健康センターを拠点として、身体活動などをはじめとした適正な生活習慣や食習慣の定着、妊娠期・幼少期から高齢期までの各年代にあわせた対策、さらには多様な活動主体との連携など、広がりをもった健康づくりへの取組が必要とされています。



## ■ 基本方針

### (1) 地域における健康づくりの推進

市民の自発的な健康づくりを支援するため、自治会や住民団体など、多様な活動主体による事業を実施するとともに連携を強化します。

主な事業 地域健康寺子屋事業、出前健康教室事業、介護予防教室事業 など

### (2) 各年代における健康づくりの推進

それぞれの生活や年代など、ライフステージに合わせたきめ細やかな健康づくり事業を推進します。

主な事業 母子保健事業、ロコモティブシンドローム（※）予防事業、認知症予防事業 など

### (3) 生活習慣病の発症予防と重症化予防

主要な死亡原因であるがんや心疾患、脳血管疾患、COPD(慢性閉塞性肺疾患)等への対策を実施します。

主な事業 各種健康診査・検診事業、生活習慣病予防事業、重症化予防事業 など

### (4) 栄養・運動など生活習慣の改善

食生活と栄養、身体活動、休養、飲酒、喫煙などの生活習慣や、これらを取り巻く生活環境の改善につながる行動変容を促すための事業を実施します。

主な事業 食育推進事業、健康ポイント事業、運動・栄養教室事業、禁煙・分煙対策事業 など

### (5) 心の健康づくりの推進

ストレスに対処する知識などを身につけ、日常生活の中で対応できるようにするとともに、心の問題を抱えた人へのセーフティネットの構築に努めます。

主な事業 自殺・虐待予防事業、訪問・相談事業 など

※ロコモティブシンドローム…筋肉や骨、関節などの運動器の障害のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性の高い状態のこと。

## ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気の発症原因を知り、健康への理解を深めます。</li> <li>● 日常的な身体活動や食事の栄養バランスなどの生活習慣・食習慣に気をつけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康教室への参加の呼びかけなど、地域住民の健康づくりの推進に努めます。</li> <li>● 働く世代への検診勧奨など、健康づくりへの意識向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合健康センターを拠点に、地区担当制等による健康づくりの体制を整えます。</li> <li>● 関係団体（者）と連携し、家庭、地域、企業等の健康づくりを支援します。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 袋井市健康づくり計画</li> <li>● 袋井市国民健康保険保健事業実施計画</li> <li>● 袋井市国民健康保険特定健康診査等実施計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 袋井市長寿しあわせ計画</li> <li>● 袋井市地域福祉計画</li> <li>● 袋井市子ども・子育て支援事業計画</li> </ul>
-------------	---	--

## 取組2 いきいきと暮らせる健康長寿の推進

### 目的

すべての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を目指します。

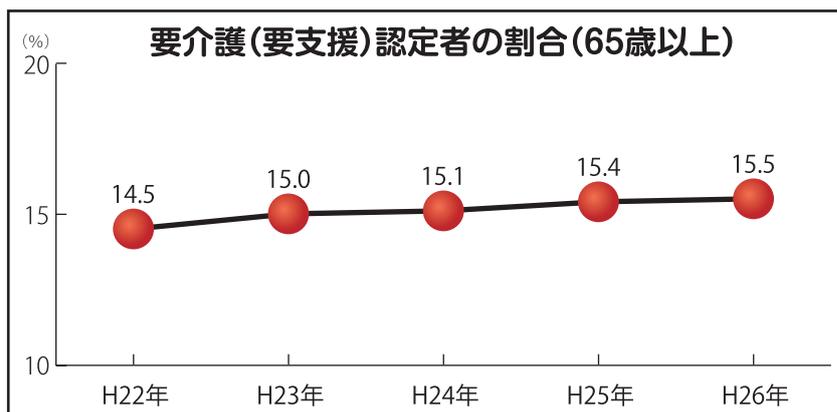
### 現状と課題

近年、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの変化によって、住民相互のつながりが希薄化しており、地域において高齢者を支える新たな仕組みづくりが必要となっています。

また、介護保険制度では、高齢者数の増加やサービス利用者の大幅な伸びにより費用の増大が続いており、国では、高齢者虐待防止や要介護者に対する医療的ケア、地域における高齢者の見守り体制の構築等によって、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

本市では、高齢化率は国や県より低いものの、要介護認定率はほぼ県平均で、今後も高齢化に伴い要介護認定者や認知症高齢者の増加が見込まれています。

このため、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、福祉や介護保険などの公的サービスの充実を図るとともに、高齢者自身や家族、地域住民やボランティアをはじめ、地域と行政が協働して、包括的かつ継続的な取組を展開する必要があります。



## ■ 基本方針

### (1) 健康と生きがいづくりの推進

豊かな人生と健康長寿の実現のために、若い時期から切れ目のない健康づくりと介護予防に  
取り組み、高齢者がいきいきと活躍する社会づくりを推進します。

主な事業 シニアが活躍する社会クラブ活動支援事業、介護支援ボランティア事業、介護予防事業 など

### (2) 地域包括ケアの充実

医療・介護連携強化、認知症施策や介護予防の効果的な取組を推進し、地域包括ケアシステ  
ムを構築します。

主な事業 地域包括支援センター運営事業、在宅支援サービス事業 など

### (3) 住みやすいまちづくりの推進

高齢者の日常生活に適した住まいが確保できるよう、適切な情報を提供するとともに、防犯  
や安全対策に取り組みます。

主な事業 相談窓口事業、住宅改修支援事業、交通安全・防犯対策事業 など

### (4) 支え合う仕組みの構築

地域での見守りや災害時、救急時の支援を推進します。

主な事業 見守りネットワーク体制推進事業、災害時・救急時支援事業 など

### (5) 介護保険事業の円滑な実施

高齢者が住み慣れた地域で生活ができるよう、ニーズに応じたサービス提供体制を整えると  
ともに、サービスの質の向上を図ります。

主な事業 介護施設整備事業、介護給付適正化事業 など

## ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
●健康づくりや介護予防のための講座等へ参加し、認知症や介護支援等について理解を深めます。	●地域住民同士の支え合いができる体制づくりに努めます。 ●事業者は介護サービスの質の確保、向上に努めます。	●地域包括ケアシステムの構築に向け、保健、医療、介護、福祉の連携を図ります。 ●地域のリーダーの育成や多様な主体の支援体制の充実・強化を図ります。

<b>関連計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●袋井市長寿しあわせ計画 (第7次袋井市高齢者保健福祉計画、第6期袋井市介護保険事業計画)</li> <li>●袋井市健康づくり計画</li> <li>●袋井市地域福祉推進計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●袋井市障害者計画</li> <li>●袋井市人権啓発推進計画</li> </ul>
-------------	--	---

## 取組3 安心できる地域医療の充実

### 目的

保健・予防から医療、介護、福祉へと切れ目のない連携体制の構築を目指します。

### 現状と課題

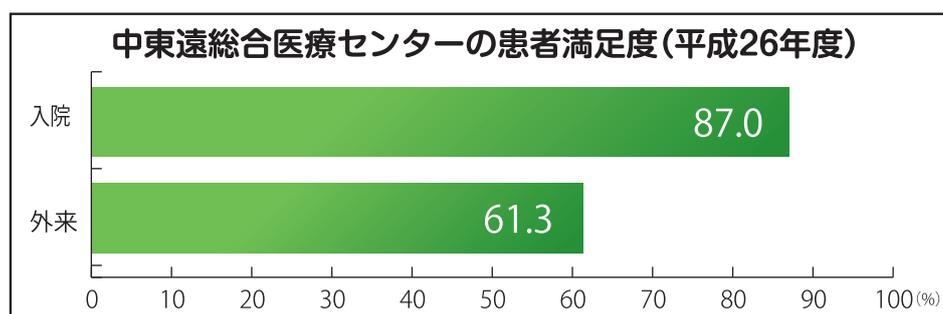
中東遠地域の医師数が、県平均や全国平均を大きく下回る状況が続く中、本市では市民が安心して医療を受けられるよう、中東遠総合医療センター、聖隷袋井市民病院を開院するとともに、休日急患診療室を開院しました。



今後は、これらの施設間の連携強化を進め、急性期から慢性期までの切れ目のない地域医療体制を確保していく必要があります。

また、医療機関や介護施設から在宅介護への転換を図るため、保健・医療・介護・福祉サービスが連携した地域包括ケアシステムの構築や、救急医療体制のさらなる充実を図っていく必要があります。

そのため、総合健康センターと医師会、歯科医師会、薬剤師会や医療機関、在宅看護・介護事業者などの連携を進め、保健・予防、医療、介護、福祉の各分野の充実を図るとともに、地域包括ケアの取組を推進し、切れ目のないサービスを提供していくことが求められています。



## ■ 基本方針

### (1) 切れ目のない地域医療体制の確保

中東遠総合医療センターや聖隷袋井市民病院、市内開業医と定期的な情報交換を行い、連携を強化して切れ目のない地域医療体制を確保します。

主な事業 地域医療事業

### (2) 救急医療体制の確保

一次救急医療体制の完全センター方式に向けた検討を行うとともに、中東遠総合医療センターと連携を図り、中東遠圏域内の安全・安心で持続可能な救急医療体制を確保します。また、救急医療の適正受診に関する啓発活動を実施します。

主な事業 一次救急医療事業、地域医療啓発事業

### (3) 医療と介護の連携強化

総合健康センターを拠点として、地域の医療機関や開業医、訪問看護・介護事業者などとの連携を深め、地域包括ケアシステムを構築します。

主な事業 総合健康センター事業

## ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「かかりつけ医」を持ち、自己の健康管理に努めます。</li> <li>● 症状に応じ適切な医療機関を受診します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療機関や介護・福祉事業所、行政とともに地域包括ケアシステムを構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療機関と市民とがコミュニケーションを図れる機会を創出します。</li> <li>● 総合健康センターを拠点に、保健・予防、医療、介護、福祉の連携を図ります。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中東遠総合医療センター中期経営計画</li> <li>● 袋井市健康づくり計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 袋井市長寿しあわせ計画</li> </ul>
-------------	---	---

## 取組4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進

### 目的

障がいのある人が、住み慣れた地域で、生きがいを持って生活できる環境を整備します。

### 現状と課題

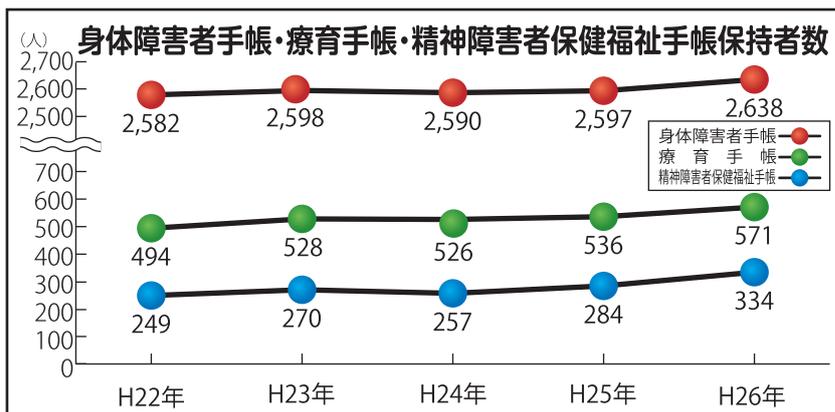
障がいのある人の権利を実現するため、障がいに基づくあらゆる差別の禁止や、社会への参加を促進する国際的な障害者権利条約が、平成26年2月に国内でも承認されました。

障がいのある人への支援は、障がいの種別や年齢に関係なく、住み慣れた地域できめ細かなサービスを受けられること

が望ましく、また、自分の能力を最大限発揮し、生きがいを持って生活できる環境が整備されることが求められています。

本市における平成26年度末の身体障害者手帳の保持者は、2,638人（3.03%）、療育手帳保持者は571人（0.66%）、精神障害者保健福祉手帳保持者は334人（0.38%）です。今後さらに、多様なニーズに応じたサービスを展開していくとともに、核家族化や高齢化の進行等により、家族からの支援も難しくなると見込まれることから、障がいのある人が身近なところで相談できる体制を整備する必要があります。

また、障がいのある人が地域で安心して暮らすためには、地域全体で支えるとともに、就労などの支援においても、地域や企業等の理解や協力を得ながら推進していく必要があります。



## ■ 基本方針

### (1) 自立した生活の支援

障がいのある人が地域で自立した生活を営むことができるよう、身近に相談できる環境の整備及び住まいや就労の場の確保など、必要な支援を行います。

主な事業 介護給付事業、訓練等給付事業、地域生活支援事業 など

### (2) 社会福祉施設の整備支援

住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、社会福祉法人やNPO法人などとの連携を図り、共同生活援助（グループホーム）などのサービス拠点となる施設整備を支援します。

主な事業 社会福祉施設設備整備費補助事業 など

### (3) 障がい者への理解と地域の交流の支援

地域において安心して安全に生活できるよう、支援体制を整えるとともに、障がいのある人への正しい理解を深め、地域で行われる様々な行事や取組に参加できるよう支援します。

主な事業 要配慮者支援事業、緊急通報システム設置事業 など

## ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がいのある人や家族が社会参加を目指す意識を持つよう努めます。</li> <li>●地域の民生委員等に相談しやすい環境づくりに努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で障がい者を見守る意識を持ち、支え合う環境を整えます。</li> <li>●障がいのある人の地域活動への積極的な参加を促します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がいのある人や家族及び地域におけるノーマライゼーション（※）を啓発します。</li> <li>●地域や社会福祉法人、企業等との連携を強化し、地域移行を推進します。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	●袋井市障害者計画	●袋井市障害福祉計画
-------------	-----------	------------

※ノーマライゼーション…障がいのある人もない人も、誰もが個人の尊厳を重んぜられ、平等に生活できる社会が普通（ノーマル）の社会である、とする考え方。また、それに基づく社会福祉政策や運動のこと。

## 取組5 親しみやすい市民スポーツの推進

### 目的

市民が明るく健康でいきいきとした生活を送れるように、気軽に親しめるスポーツ文化の推進に取り組みます。

### 現状と課題

本市では、平成30年（2018年）に、エコパアリーナで全国高等学校総合体育大会弓道競技大会が開催され、翌年には、エコパスタジアムがラグビーワールドカップ2019静岡県開催の会場となるなど、スポーツビッグイベントが続き、さらに、平成32年（2020年）には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、市民がスポーツに親しむ機会が増えることが期待されます。

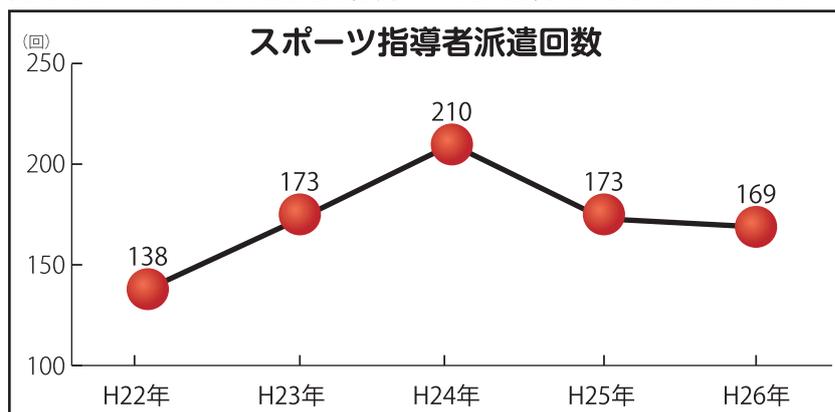


こうした大会を契機に、市民のスポーツへの関心をさらに高めるため、開催機運の高揚事業をはじめ、スポーツイベントに係る様々な活動への市民参画により、スポーツのまちづくりを推進していくことが大切です。

また、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むために、ライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことができる環境づくりが求められています。このため、新総合体育館については、民間活力を活用した施設整備や運営を進めるとともに、愛野公園の運動施設など老朽化が著しいスポーツ施設についても、新たな施設整備のあり方を検討する必要があります。

さらには、子どもたちがスポーツに親しむ機会を増やし、学校の体育活動や地域スポーツを通じて、体力の向上と体を動かす大切さ、仲間とのふれあいの中で、楽しさや喜びを実感できることが重要です。

本市においては、ニュースポーツの普及や競技力向上のための支援、また、指導者養成など、一人でも多くの方がスポーツにふれあう環境づくりを行っています。スポーツが生活の中に溶け込み、市民が健康で豊かな毎日を送ることができる環境の整備やスポーツで人生を豊かに過ごすスポーツ文化の推進に取り組んでいく必要があります。



## ■ 基本方針

### (1) 子どものスポーツ機会の充実と体力向上

すべての子どもが、スポーツを楽しみ、取り組むことができるスポーツ環境の整備を図るとともに、体力向上を目指します。

主な事業 各種スポーツ教室開催事業、指導者派遣事業

### (2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

スポーツ推進委員会を中心に、子どもから高齢者、障がい者まで、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図ります。

主な事業 ニュースポーツ普及事業、スポーツイベント開催事業、地域スポーツクラブ育成事業

### (3) 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

市民ニーズにあったスポーツ施設の充実を図るとともに、身近な地域で運動ができるスポーツ環境づくりを推進します。

主な事業 総合体育館整備事業、スポーツ施設維持管理事業

### (4) アスリートを育てる競技スポーツの推進

スポーツ協会や各種競技団体等と連携し、スポーツ選手の競技力向上、指導者の育成、競技大会の支援に取り組みます。

主な事業 競技スポーツ支援事業、スポーツ指導者育成事業

## ■ 協働の考え方や役割

市民	地域・社会	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民一人ひとりがライフステージに応じたスポーツ活動に取り組みます。</li> <li>●子どもの頃から体を動かす楽しさや日常的な運動習慣を身につけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で身近に運動できるスポーツ環境づくりを推進します。</li> <li>●選手と指導者を育成し、競技力向上を図るよう努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツを行える環境を整備します。</li> <li>●スポーツが日常的に行われるようスポーツ文化の推進を図ります。</li> </ul>

<b>関連計画</b>	●第3次袋井市スポーツ推進計画	●袋井市教育大綱
-------------	-----------------	----------

